

「マイナビ 2022 年卒大学生就職意識調査」を発表

企業選択のポイントは「安定している」が 42.8%。コロナ禍の影響か、2001 年卒以降過去最高に

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：中川信行）は、「マイナビ 2022 年卒大学生就職意識調査」を発表しました。本調査は、学生の就職意識や就職活動全体の動向を把握することを目的に、1979 年卒より毎年実施しています。調査結果の概要は以下の通りです。

《TOPICS》

- ◆ 2022 年卒学生の就職観は「楽しく働きたい」が最多で 34.8%。前年からの増加幅が大きいのは「人のためになる仕事をしたい」【図 1】
- ◆ 企業選択のポイントは「安定している」が前年から 4.5pt 増加して 42.8%、2001 年卒調査以降で最も高い割合に。コロナ禍による不透明な経済状況の影響か【図 2】
- ◆ 学生が行きたくない会社は「ノルマのきつそうな会社」が最多、前年からの増加幅が大きいのは「転勤の多い会社」【図 3】

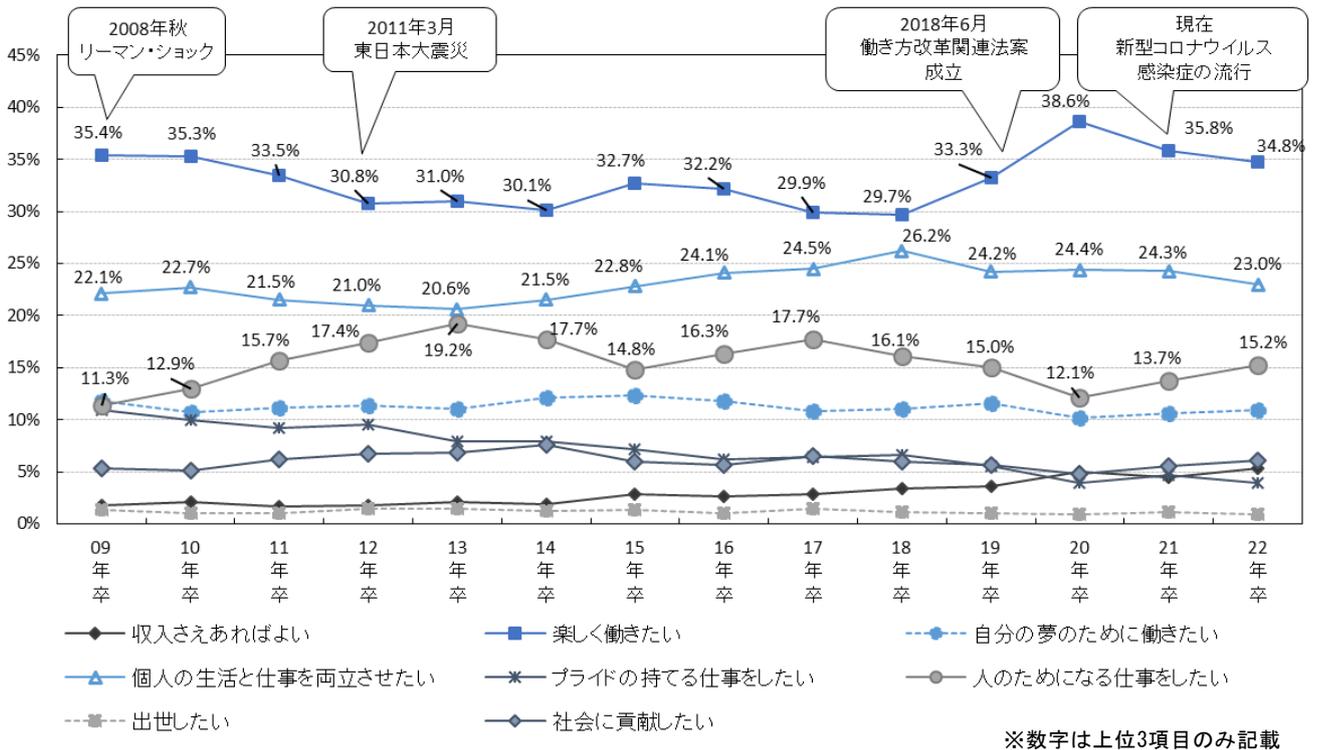
【調査概要】

2022 年卒学生の就職観は、「楽しく働きたい」が最多で 34.8%（前年比 1.0pt 減）だった。前年からの変化が最も大きいのは「人のためになる仕事をしたい」で 15.2%（前年比 1.5pt 増）だった。これまでも経済状況の悪化や大きな災害等が起こった際には「楽しく働きたい」が減少し、「人のためになる仕事をしたい」が増加傾向にあった。新型コロナウイルス感染症の流行前である 2020 年卒から 2022 年卒の 3 年で変化を見ると、「楽しく働きたい」は 2020 年卒に比べ 3.8pt 減少し、「人のためになる仕事をしたい」は 3.1pt 増加している。コロナ禍は学生の「就活観」に少なからず影響を及ぼしていることが分かる。【図 1】

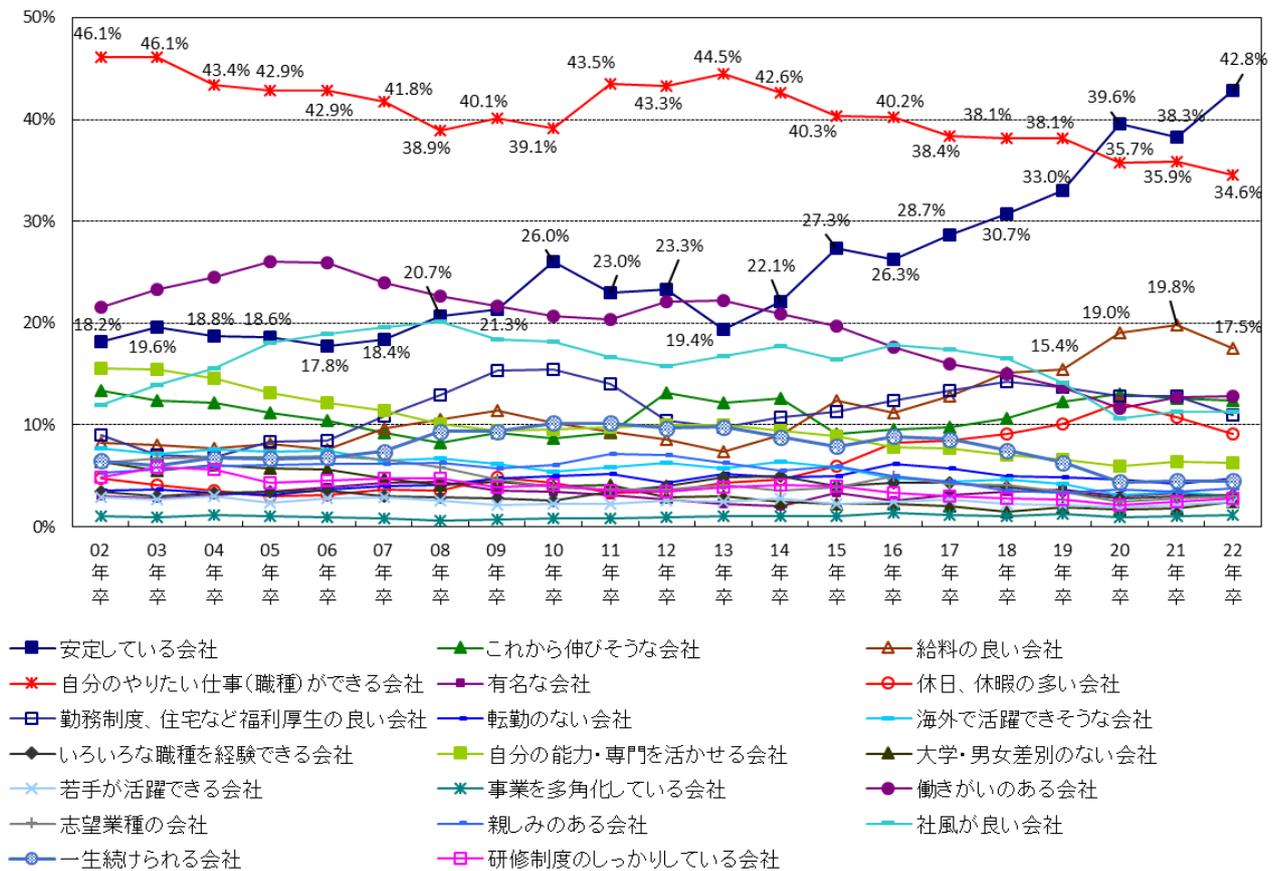
企業を選択する場合にどのような企業がよいかを聞いたところ、「安定している会社」が 42.8%（前年比 4.5pt 増）と最多で、本設問の調査を開始した 2001 年卒以降で最も高い割合になった。一方で、「自分のやりたい仕事（職種）ができる会社」が 34.6%（前年比 1.3pt 減）、「給料のよい会社」が 17.5%（前年比 2.3pt 減）でいずれも減少している。新型コロナウイルス感染症の影響による不透明な経済情勢を反映して、少しでも安定した未来を見通せる選択をしたいとする思いがうかがえる。【図 2】

行きたくない会社を聞いたところ、「ノルマのきつそうな会社」が前年に続き最多で 35.8%（前年比 1.3pt 増）、次いで「暗い雰囲気のある会社」で 28.9%（前年比 0.6pt 減）で、上位 2 項目は 2008 年卒以来、変わらなかった。2022 年卒で増加したのは「転勤の多い会社」で、前年から 2.2pt 増の 24.9% だった。コロナ禍の影響でリモートワーク等、働く場所を自分で選択するような価値観が社会に広がりつつあるが、学生の志向にもその影響が及んでいるとみられる。【図 3】

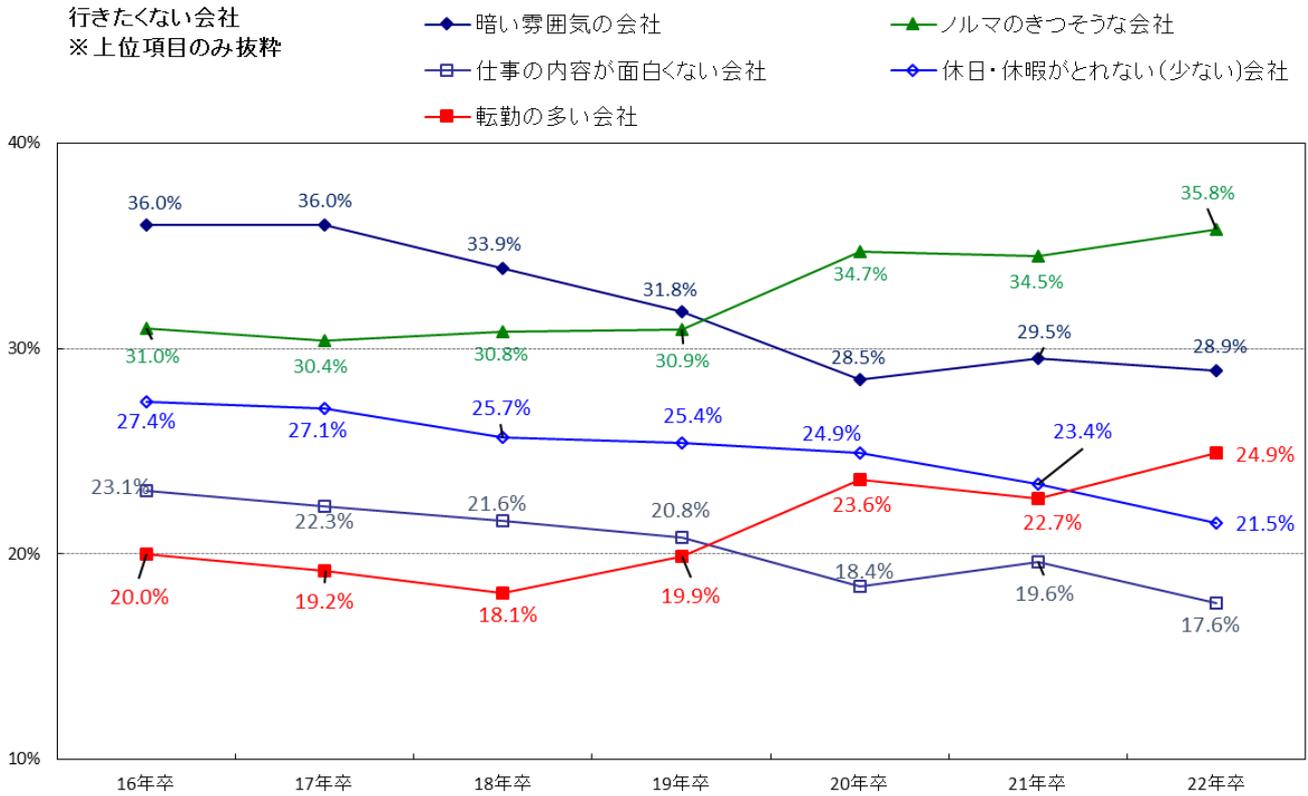
【図1】就職観の推移（2009年卒～2022年卒）



【図2】企業選択のポイント（2002年卒～2022年卒）



【図3】 行きたくない会社 (2016年卒～2022年卒)



【調査概要】「マイナビ 2022年卒大学生就職意識調査」

- 調査期間／2020年12月1日(火)～2021年3月20日(土)
- 調査方法／WEB入力フォームによる回収
- 調査対象／2022年卒業予定の全国の大学4年生および大学院2年生
- 有効回答数／41,731名(文系男子12,798名 理系男子6,646名 文系女子17,512名 理系女子4,775名)
- ※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細は会社HPのニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認いただけます